



I C T学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立黒石養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	集中して取り組もう		
	単元(題材)の目標	iPad の操作に慣れ、アプリを活用しながら課題に取り組むことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	2 年 4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	得意なこと、興味のある活動には集中することができるが、そうでない活動では、周囲の様子等が気になり、長時間活動に集中できないことが多い。また、平仮名や数は読めるが、書字では、形をきちんと捉えていないこともあり、視写が難しく、きれいに書くことが難しい児童もいる。		
I C T活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	①視知覚バランサー ②子ども脳機能バランサー	① 	② 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> 情意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながらタブレットを操作し、端末の扱いに慣れる。</li> <li>・形を捉えるなどの空間認知力、注視し続ける力、集中力を高める。</li> <li>・アプリ内の難易度を変更して実態を把握する。</li> </ul>		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用するアプリの時間を決めて取り組んだ。どの児童も15分程の使用だったが、集中してアプリ内の課題を解いていた。アプリ内の操作に戸惑っている児童においては、教師側が取り組む課題を決めて提示するようにした。</li> <li>・どの児童もクリアすると達成感を感じ、次の課題へ進もうと意欲を見せていた。</li> <li>・アプリ内の好きな課題ばかり行おうする傾向があるため、教師側が使用する課題を提示しながら難易度を変更し、実態把握するようにした。</li> </ul>			